

---

**Cassina × FLOS × Ron Gilad**  
**Cassina 創業 90 周年プレ・イヤー 特別インスタレーション**  
**“Who looks at me from behind doesn't know who I am.”**

---

株式会社カッシーナ・イクスシー（本社：東京都港区、代表取締役社長：森 康洋）は、カッシーナ・イクスシー 青山本店において、2016年10月27日（木）よりデザイナー ロン・ギラッド氏による特別インスタレーションを展開し、2017年に迎えるイタリア・Cassina社の創業90周年を盛り上げてまいります。

**Cassina 新作「DEADLINE」×FLOS**

ロン・ギラッド氏によるインスタレーションは、“Who looks at me from behind doesn't know who I am.”をテーマに、以下の3つのパートで構成されます。



## ■ 11 “short stories” / 11のショートストーリー

メインパートとなる青山本店エントランスと2階ギャラリーは、Cassinaが今年のミラノ・サローネで発表した、ロン・ギラッド氏のデザインによるコンセプチュアルなミラーコレクション「DEADLINE (デッドライン)」と、イタリアの照明ブランドFLOSのプロダクトを用い、11のシーンを展開します。

それぞれのシーンには、伝統とコンテンポラリーを結びつけるストーリーがあり、ミラー、照明、家具、そして日本文化からピックアップしたエッセンスから構成。相撲取り、こけし、書、壺、さらにはポケモンさえもインスタレーションの一員として集め、物理的にも概念的にも相互作用しながら、アイロニックで時に超現実的なシナリオを作り出します。

ミラーコレクション「DEADLINE」は様々なアングルで配置され、見る者はそれぞれのストーリーに巻き込まれていきます。ミラーはその姿を映しながら、千変万化の不思議な感覚を体験させてくれます。

## ■ “pied-à-terre” / 都会のセカンドハウス

2階のギャラリー横、ラウンジスペースは“pied-à-terre” (ピエタテル=自宅とは別に都心に所有する仮住まい) をコンセプトに、CassinaとFLOSのマスターピースを中心とした、都会の生活のワンシーンを切り取ります。

## ■ Window installation / ウィンドウ インスタレーション

青山通りに面する2階のショーウィンドウには、道行く人々が思わず足を止め、微笑んでしまうようなプランを用意いたします。

是非ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

Ron Gilad (ロン・ギラッド)

1972年イスラエル、テルアビブ生まれ。

エルサレムにあるベツァエル美術デザイン学院でインダストリアルデザインを学んだ後、2001年ニューヨークに移り、studio Designfenziderを共同設立。現在は主にテルアビブとミラノを拠点に活動。アート・ディレクション、プロダクトデザイン、展覧会、リノベーションなど、活動の範囲は幅広く、ミニマリストティックでありながらも巧みで遊び心のあるアプローチにより、数々の企業とコラボレーションを行っている。

## ■ 特別インスタレーション&新作展示会「DEADLINE」

日程:2016年10月27日(木)~11月8日(火) 11:00 ~ 19:00

※10/27は営業時間変更 11:00 ~ 15:00

場所:カッシーナ・イクスシー青山本店

機能的にインテリアを装飾する、12種類の様々な形状のアート作品が登場しました。このミラーコレクションは、我々が何者であるか、我々が目にしているものは何か、それは現実なのか、それとも現実を映したもののなのか、そういった疑問を投げかけてきます。それぞれのアイテムは2つのミラーから成り、手前のミラーの裏側にオレンジ、ブルー、レッドの色がプリントされています。それを後ろ側のミラーが、2つの平面、2つの遠近感において、ジオメトリックな形状を映し出しています。この複雑な視覚的効果は、見る角度によって異なる表情を見せ、変化するアートとしても楽しむことができます。

■ 50×70cm

¥140,000 (税抜)

Who's Afraid of Red  
Memory of a Lost Oval  
2 Crossing Paths  
60 Crossing Paths  
Shredded A3  
Daydream

■ 100×100cm

¥198,000 (税抜)

200 Lines of Realism  
Eternal Sun  
Reflections about Spatialism

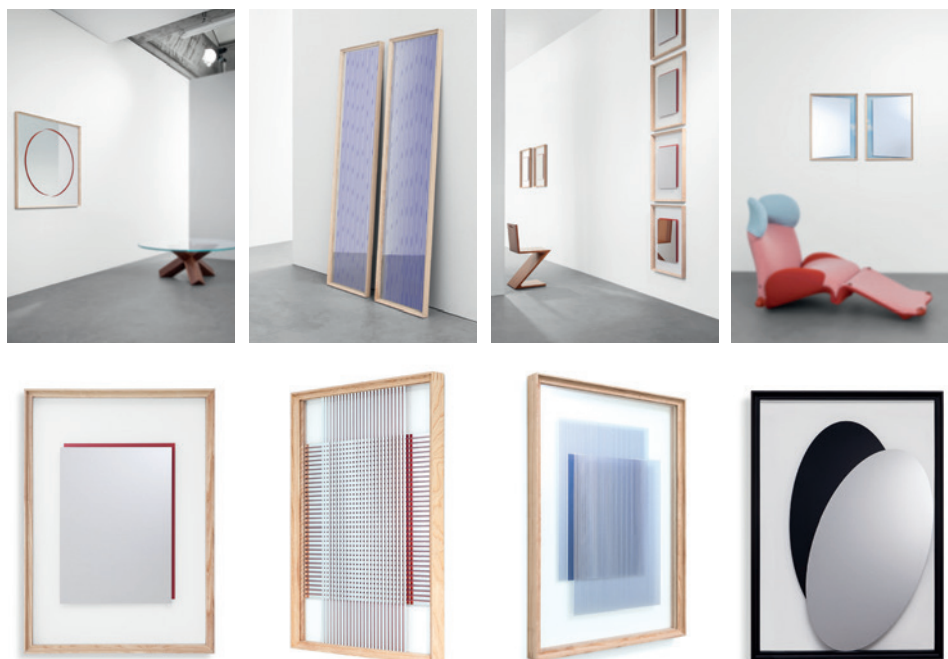
■ 40×170cm

¥198,000 (税抜)

Cesare & Adele  
Sunset in Black  
Blue Deadline

『人類の歴史が始まったころ、人間は自分自身の存在を、周辺のものに映し出された姿を目にすることで認識しました。この世において自分が何者であるかといった感覚の土台が、そこから始まったのです。我々の意識が育つにつれ、オブジェとしての鏡が、自己投影を行うツールとなりました。DEADLINEは現実を平行に重なるレイヤーに切り裂き、より複雑でポエティックな現実を見つめる可能性を、見る者に与えます。見る者の姿を映すことはただ客観的であるということではなく、オブジェとしての鏡という我々の認識をゆがめながら、自己投影という機能的側面が二次的なものとなります。我々にとって鏡とは、「今」「この瞬間」を映すものですが、DEADLINEシリーズに映る「今」には、「過去」や「であったかもしれない」といった印象が漂っているのです。』

ロン・ギラッド



■ BLACK RED AND BLUE - Zeilmaker House design: Gerrit Thomas Rietveld

赤と青の組み合わせで知られる、ヘーリット・トーマス・リートフェルトの「RED AND BLUE」。オリジナルデザインは1918年に無染色・無塗装のもので作られました。リートフェルトはその後顧客の要望に合わせて様々な色の組み合わせを試していましたが、今回カッシーナは1920年 Zeilmaker (ゼルマーカー) 邸のために作られた仕様を再現しました。ブラック染色のビーチウッドのフレームに、小口はホワイトというコントラスト。座面と背もたれは深いグリーンカラーのラッカー仕上げとなっています。オプションで背・座クッションを追加することができ、快適性が向上しています。

W655×D830×H880 (SH330) mm ¥500,000 (税抜)

(オプション)背・座クッション ¥54,000 (税抜)～



■ WINK - special design: Toshiyuki Kita

日本人デザイナー喜多俊之による80年代のアイコン的チェア、「WINK」。「TOPOLINO(小ネズミ)」の愛称は、特徴溢れるユーモラスなその形態から来ています。ネズミの両耳にあたる折り曲げ式のヘッドレストが左右独自に動くのが特徴。フットレストも折り曲げ式で、シェーズロングとして使用時には座の下部から引き出します。リクライニングには、かつてのフィアット社の車と同様の方式が採用されているのが、当時としては画期的でした。現代のライフスタイルに寄り添うようアップデートされた2トーンの張り分けタイプは、オーバーカバーを組み合わせることでより一層個性的に彩ることができます。発表から35年以上たった現在も、暮らしに遊び心をもたらす精神は変わらずに存在しています。

W780×D900～2000×H800 (SH380) mm ¥520,000 (税抜)～

2トーン ¥750,000 (税抜)



## ■ UTRECHT - zigzag stitch design: Gerrit Thomas Rietveld

1935年、オランダの老舗デパート「メッツ」の依頼で生まれたソファ。真横から見ると重心が低く、重厚感のあるガッチリとしたフォルムですが、正面、斜めからは軽やかにも見え、さらに独特のステッチが個性を際立たせています。90周年記念の新仕様として、従来のステッチに加え5色のジグザグステッチが追加になりました。

1人掛 W640×D850×H700 (SH370, AH490) mm ¥480,000 (税抜) ~



## ■ LA ROTONDA - low table design: Mario Bellini

ダイニングテーブルとして人気の「LA ROTONDA」に、ローテーブルの仕様が追加されました。3本の木材が絡み合ったように見える脚部は、軸となる1本の脚のホゾ穴に4方向から3枚のホゾが付いたパーツが差し込まれ、そのホゾが内部で絡み合い形成されています。建築的な美しさを感じられ、ローテーブルのスケールでもダイナミックな迫力を醸し出しています。

φ1250×H430mm ¥560,000 (税抜)



## RIO

design:Charlotte Perriand

Cassina

1962年、シャルロット・ペリアンはこのテーブルを夫であるジャック・マルタンが住むブラジルの自邸のためにデザインしました。その後ペリアンは、パリの日本大使館にも同じテーブルを採用しています。2種類の半径の6片が交互に組み合わさり、独特の形状の美しさが空間にリズムを生み出すデザインです。今回は、マーブルトップ仕様を展示発表いたします。

W1400×D1400×H330mm

マーブルトップ¥1,480,000 (税抜)



## TWIG

design:nendo

ixc.

4本の脚部は上部でアルミニウムから木へと切り替わり、有機的な形状のアームレストへとつながっていきます。「TWIG (=小枝)」という名のとおり木のぬくもりと軽やかな印象を与えるデザインで、ダイニングやオフィスを親しみやすい空間に演出してくれます。

W590×D510×H700 (SH445) mm

¥98,000 (税抜) ~



## HERITAGE CRAFT

クラフト、工芸は近年のインテリアティスト、スタイルにたいへん影響を与えている要素であり、その傾向は職人に限らずデザイナーやメーカーも様々な素材の新たな可能性を追い求め、よりコンテンポラリーで味わいのあるハンドクラフト作品を模索し、新たな商品を生み出しています。今回カッシーナ・イクスシーでは、秋の新作として「New Art & Craft」をテーマにセレクトしたコレクションを展開します。

### AYTM

AYTM は、デンマークのインテリアビジネスで成功を収めたカトリーヌ&ペール・グランハートヴィグセン夫妻が、今まで培ってきた豊富な経験をベースに新しいデニッシュデザインを提案することをコンセプトに作られた、ホームインテリアブランドです。北欧デザインをこれまでとは違うアプローチで捉え、素材と外観のコントラストに着目しつつ、作風はシンプル且つバランスの取れたカラーで彩られています。新しくユニークな北欧デザインアイテムをご紹介します。



### KIRSTIE VAN NOORT

1986年オランダ生まれ。Design Academy Eindhovenを2011年に卒業後、自身のスタジオ Studio Kirstie van Noort を設立。アイントハーヘンを拠点に活動しています。自然環境から取れるミネラルを用いてオリジナルのカラーパレットを製作する技法が特徴の作家で、土、釉薬についてその都度さまざまなリサーチを行い、陶磁器についての知識と経験を積みながら、セラミック陶器のプロダクトを中心に様々なプロジェクトを展開しています。



### FLORIS WUBBEN

オランダ及びベルギーでインテリア、家具デザインを学んだ FLORIS WUBBEN (フロリス・ウーベン)。2009年にオランダに自身のスタジオを設立し、製作活動を行っています。今回展開する Erosion set はソーラーシステムに着想を得た、バーナーで粘土を焼くことで陶器に独特のテクスチャーを施すオリジナルの技法で、そこに異なる色の釉薬を施すことでまるで地面が浸食されたかのような質感を生み出している作品です。



## SOCIETY

世界中の一流アパレルブランドやインテリアメーカーに素材を提供し続けるイタリアの名門テキスタイルメーカー、リモンタ社が展開するオリジナルホームリネンブランドのSOCIETY(ソサエティ)。2016年秋冬の新作は「キャメル&カラー」をテーマに、キャメルを挿し色にブルーベリーやポピーピンク、優しい色調のジェイドグリーンやダスティブルー、テラコッタオレンジを重ねるスタイリングを展開。同系色で展開されるマクロパターンのピローケースや、冬に向けたスロー、ブランケットも入荷し、今冬に向けた明るく温かみのあるベッドコーディネートをご提案します。

